

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所属・ 職・氏名	淡路市立尾崎小学校	研究チーム名 (尾崎小学校研修部)
	職・氏名 教諭 植野 浩子	

研究テーマ分類番号 (1)

(1)研究テーマ
伝え合う力を養い、通じ合う心を育てる
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>4月20日 研修推進会 (参加人数：10名) ○研究テーマ設定・年間計画作成 ○児童の実態・状況についての調査 ・授業での様子……発表の仕方、話し方、意見の聴き方 ・日常生活での様子……言葉遣い、友だちへの対応</p> <p>5月25日 言語活動研修会 (参加人数：10名) ○思考力・判断力・表現力等を育むための指導方法について研究 ・「伝え合う力」を育む4つの視点 ・「聴き方」「話し方」のポイント ・「朝の会」「帰りの会」「全校集会」での取り組み</p> <p>6月24日 研究授業① 1年・国語 (参加人数：10名) ○成果と課題 ・聞き手を意識して分かりやすく伝えるための話し方を工夫させるために、二人組の話し合い活動を取り入れる。 ・「書く」活動で終わらせるのではなく、発表し合うことでそれぞれの考えを共有させる。</p> <p>8月 5日 調査① 「言語活動の充実」について ○調査場所：兵庫県文化体育館 ○調査内容：言葉の力を育てる、言語活動を授業でどう生かしていくか ○調査結果：スピーチの構成を話し手と聞き手が交流しながら学級全体でつくりあげることで、これまで一方的であったスピーチの授業を活性化することができる。</p> <p>8月18日 調査② 「発達障害・子どもの心」について ○調査場所：神戸産業振興センター ○調査内容：発達障害のある子どもの教育ニーズ 特別支援教育的観点での通常学級の授業づくりと学級経営 ○調査結果：特別な教育的ニーズのある子にとって必要な支援が、個別の支援としてだけでなく、どの子にとっても便利な支援と捉えていくことが大切である。</p> <p>8月30日 調査内容報告会 (参加人数：10名) ○内 容：「言語活動の充実」について、「発達障害・子どもの心」について 児童理解特別研修会 (参加人数：10名) ○講 師：鳴門教育大学大学院 准教授 ○テーマ：「尾崎小学校の学校ぐるみの特別支援教育―事例を通して―」 ○成果と課題 ・具体的な事例により、発達障害の児童の特性とその対応についてよく理解することができた ・児童実態把握のための事実記録、ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくり等を実践する必要がある</p> <p>10月28日 研究授業② 4年・国語 (参加人数：10名) ○成果と課題 ・授業の流れに沿って一つ一つの発問について分析した上で、発問を焦点化し、児童の発言を拾い上げ結び付けていく ・「読む」「書く」「考える」の学習活動をどう絡ませるか ・読み深めるためには、「正確に読む」「考えながら読む」音読を工夫すること</p>

